

熊本保健科学大学における新たなルールに基づいた入学試験概要について
(2019年3月29日更新)

熊本保健科学大学では、文部科学省によって提示された新たなルールに基づく **2021** 年度入学試験（**2020** 年度実施）概要を **2018** 年 **12** 月に公表しましたが、この度、その内容について新たに更新しましたので、お知らせします。

注：この内容は現時点のものであり、今後、変更の可能性があります。変更を行う場合は、改めてお知らせします。

○これまでの入試区分の名称を以下のとおり変更し、新たに「総合型選抜」を導入します。

変更前	変更後（2021年度入試）
【実施なし】	【新規】総合型選抜
指定校推薦入試	学校推薦型選抜（指定校推薦）
一般推薦入試	学校推薦型選抜（一般推薦）
一般入試	一般選抜
センター試験利用入試（前期日程）	大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）
センター試験利用入試（後期日程）	大学入学共通テスト利用選抜（後期日程）
社会人入試	特別選抜（社会人）

○入試区分別の募集人員は、以下のようになります。

入試区分 学科・専攻	総合型 選 抜	学校推薦型選抜		一 般 選 抜	大学入学共通テスト 利 用 選 抜		特別選抜 社会人	合 計	
		指定校 推 薦	一般 推 薦		前期 日程	後期 日程			
医学検査学科	5名	15名	30名	40名	5名	5名		100名	
看護学科	5名	15名	30名	40名	5名	5名		100名	
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名	40名	120名
リハビリテーション学科 生活機能療法学専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名	40名	
リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	3名	5名	12名	15名	3名	2名	若干名	40名	
合 計	19名	45名	96名	125名	19名	16名	若干名	320名	

※ 各学科・専攻の募集人員の合計に変更はありません。

○新たなルールに基づき、各入試区分の実施時期を、以下のとおりとします。

入試区分		出願期間		試験日	合格発表
総合型選抜		エントリー	2020年 9月上旬～中旬	2020年 10月中旬	2020年 11月上旬
		出願	2020年 10月上旬		
学校推薦型選抜	指定校推薦	2020年 11月上旬		2020年 11月中旬	2020年 12月上旬
	一般推薦	2020年 11月上旬		2020年 11月中旬	2020年 12月上旬
一般選抜		2021年 1月上旬～下旬		2021年 2月上旬	2021年 2月中
大学入学共通テスト利用選抜	前期日程	2021年 1月上旬～下旬		個別試験なし	2021年 2月中
	後期日程	2021年 2月中旬～下旬		2021年 3月上旬	2021年 3月上旬～中旬
特別選抜	社会人	2020年 10月中旬～下旬		2020年 11月上旬	2020年 11月下旬

○入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）に基づき、「学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」を多面的・総合的に評価します。具体的には、各入試区分の特徴に応じて、以下のような評価方法を用います。

(1) 総合型選抜 **専願**（合格の場合は必ず本学へ入学すること）

保健医療職へ就く意志が固く、本学への志願が強い人を対象とした入試

①エントリー

【提出書類】志願者調書（活動報告を含む）、志望理由書、**志願者評価書*** 等

***志願者評価書：家族以外の第三者が記載したもの**

【選考方法】書類選考（提出書類を総合的に評価する。）

②出願 **書類選考の合格者のみ**

【出願書類】調査書等

【選抜方法】

試験科目等	配点
【小論文】	100点
【プレゼンテーション（質疑応答を含む）】	50点
【個人面接】	50点

(2) 学校推薦型選抜（指定校推薦） **専願**（合格の場合は必ず本学へ入学すること）

本学が指定する高等学校から推薦された人を対象とした入試調査書の学習成績の状況が **3.8** 以上であること。

【出願書類】 推薦書、志望理由書、調査書

【選抜方法】

試験科目等	配点
【小論文（文章読解を含む）】	100点
【個人面接】	段階評価

※ 現行から評価方法の変更はありません。

(3) 学校推薦型選抜（一般推薦） **専願**（合格の場合は必ず本学へ入学すること）

高等学校等の長からの推薦があれば、既卒 **1** 年目まで出願できる入試調査書の学習成績の状況による出願条件は設定しない。

【出願書類】 推薦書^{*}、調査書

* 推薦書：ボランティア活動、クラブ活動、本学の指定する外部検定試験などの高校生活における活動実績等を点数化して評価します。

【選抜方法】

試験科目等	配点
【推薦書（活動実績等）】	20点
【総合問題】 「英語（リスニングを除く）、国語総合（古典を除く）、 数学 I・A」	150点
【グループ面接】	段階評価

〈試験科目に関する注意事項〉

「英語」の出題範囲は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰとする。

「数学 I・A」のうち、「数学 A」の出題範囲は、(1) 場合の数と確率、(2) 整数の性質、(3) 図形の性質とし、これらの **3** 分野の中から **2** 分野を選択解答とする。

(4) 一般選抜

各学科・専攻が指定する **3** 教科の合計得点及び 出願書類による主体性等の評価の総合得点 で合否判定を行う入試

【出願書類】 調査書、本人記載資料

【選抜方法】

試験科目等	配点
【科目試験】	100点×3
【出願書類】	20点

各学科・専攻の試験科目等は **6** ページを参照

(5) 大学入学共通テスト利用選抜（前期日程） ★新規公表

各学科・専攻が指定する大学入学共通テストの3教科の合計得点で合否判定を行う入試。選択科目を指定科目数以上受験している場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

【出願書類】 調査書、大学入学共通テスト成績請求票（仮）

【選抜方法】

試験科目等	配点
【科目試験】	200点×3

} 各学科・専攻の試験科目等は
8ページを参照

記述式問題の取扱いについて

〈数学Ⅰ・数学A〉

記述式問題を含めた100点満点の得点を200点満点に換算して「数学」の得点として活用する。ただし、医学検査学科では、「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」を各100点満点とし、合わせて200点満点として「数学」の得点を算出する。

〈国語〉

記述式問題の評価については、大学入試センターが提供する総合段階を点数化して、次のように扱う。

『A→12点、B→9点、C→6点、D→3点、E→0点』

「国語」の得点は、記述式問題の評価に加え、客観式問題の近代以降の文章（配点100点分）を範囲として112点満点とし、これを200点満点に換算して活用する。この際、小数点以下を四捨五入して、整数値で扱う。

(6) 大学入学共通テスト利用選抜（後期日程） ★新規公表

各学科・専攻が指定する大学入学共通テストの3教科の合計得点及びグループ面接（質疑応答）で合否判定を行う入試。選択科目を指定科目数以上受験している場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

【出願書類】 調査書、大学入学共通テスト成績請求票（仮）

【選抜方法】

試験科目等	配点
【科目試験】	200点×3
【グループ面接】	段階評価

} 各学科・専攻の試験科目等は
10ページを参照

記述式問題の取扱いについて

〈数学Ⅰ・数学A〉

記述式問題を含めた100点満点の得点を200点満点に換算して「数学」の得点として活用する。

〈国語〉

客観式問題の近代以降の文章（配点100点分）のみを範囲として、これを200点満点に換算して活用する。なお、記述式問題は評価の対象としない。

(7) 特別選抜（社会人）

社会人経験を2年以上有する方を対象とした入試
実施学科はリハビリテーション学科のみ。

【出願書類】 調査書、志望理由書、履歴書

【選抜方法】

試験科目等	配点
【小論文（文章読解を含む）】	100点
【個人面接】	段階評価

※ 現行から評価方法の変更はありません。

○熊本保健科学大学 一般選抜における学力試験 出題の方針

本学は、「保健医療分野の教育と研究を通して社会に貢献できる医療技術者を養成する」ことをミッションとしており、入学者受入の方針（アドミッションポリシー）の中で、「求める学生像」の一つとして「高等学校の主要科目について教科書レベルの知識と学習習慣をしっかりと身に付けていること」を明示しています。また、卒業認定方針（ディプロマポリシー）の中では、「母語および国際的に通用する言語で自らの考えを表現し、伝えることができる」ことを挙げています。

このことを踏まえ、本学の一般選抜では、『英語』を必須科目としたうえで、3教科の学力試験を課し、いずれも高等学校の教科書レベルの知識を問うとともに、客観問題の中でも「思考力・判断力・表現力」が評価できるような工夫を凝らして出題します。また、すべての出題科目で記述式の問題を一部導入し、次に示すような能力を評価することとしています。

記述式問題の出題形式（例）	知識・技能	思考力・判断力	表現力
漢字の読み書き	◎		
正確な語彙力（英語を含む）	◎		
専門用語の理解	◎	○	
計算問題	○	◎	
実験操作・結果に対する考察	○	◎	○
小論文	○	◎	◎
英作文	○		◎

注：表中の◎や○は主たる評価項目の目安であり、その項目のみを評価するものではありません。

平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告<文部科学省ホームページ>
<http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afile/ldfile/2018/11/06/1397731_03.pdf>

一般選抜

医学検査学科

必須／選択	教科	試験科目	配点
必須	【英語】	「英語（リスニングを除く）」	100点
	【数学】	「数学Ⅰ・Ⅱ」	100点
選択	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」	100点
		上記から1科目を選択。	
本人記載資料			20点

看護学科

必須／選択	教科	試験科目	配点
必須	【英語】	「英語（リスニングを除く）」	100点
	【国語】	「国語総合（古典を除く）」	100点
選択	【数学】	「数学Ⅰ・A」	100点
	【理科】	「化学基礎・生物基礎」 「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」	
		上記から1科目を選択。	
本人記載資料			20点

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

必須／選択	教科	試験科目	配点
必須	【英語】	「英語（リスニングを除く）」	100点
選択	【国語】	「国語総合（古典を除く）」	200点 (各100点)
	【数学】	「数学Ⅰ・A」	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」「化学基礎・生物基礎」 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」	
		上記から2教科2科目を選択。	
本人記載資料			20点

リハビリテーション学科 生活機能療法学専攻

必須／選択	教科	試験科目	配点
必須	【英語】	「英語（リスニングを除く）」	100点
選択	【国語】	「国語総合（古典を除く）」	200点 (各100点)
	【数学】	「数学Ⅰ・A」	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」「化学基礎・生物基礎」 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」	
		上記から2教科2科目を選択。	
本人記載資料			20点

リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻

必須／選択	教科	試験科目	配点
必須	【英語】	「英語（リスニングを除く）」	100点
	【国語】	「国語総合（古典を除く）」	100点
選択	【数学】	「数学Ⅰ・A」	100点
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」「化学基礎・生物基礎」 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」	
	【小論文】	「小論文（文章読解を含む）」	
	上記から1科目を選択。		
本人記載資料			20点

〈試験科目に関する注意事項〉

「英語」の出題範囲は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰとする。

「数学Ⅰ・A」のうち、「数学A」の出題範囲は、(1) 場合の数と確率、(2) 整数の性質、(3) 図形の性質とし、これらの3分野の中から2分野を選択解答とする。

基礎科目は2科目で1科目とみなす。また、「物理基礎・物理」で1科目、「化学基礎・化学」で1科目、「生物基礎・生物」で1科目とみなす。

本人記載資料は、これまでの活動実績について記載したもの。詳細は改めて公表予定。

大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）

〈試験科目に関する注意事項〉

「英語」はリスニングを除く。

「数学Ⅰ・数学Ⅱ」は記述式問題を含む。

「国語（近代以降の文章）」は記述式問題を含む。

医学検査学科

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
	【数学】	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「数学Ⅲ・数学Ⅳ」	各100点	200点	200点
選択	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	200点
		上記から1科目を選択。			

看護学科

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点＋ 総合段階	200点	200点
選択	【数学】	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」	100点	200点	200点
	【理科】	「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
上記から1科目を選択。					

リハビリテーション学科理学療法専攻

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点＋ 総合段階	200点	200点×2 (400点)
	【数学】	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」	100点	200点	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
上記から2教科2科目を選択。					

リハビリテーション学科生活機能療法学専攻

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点＋総合段階	200点	200点×2 (400点)
	【数学】	「数学Ⅰ・数学A」	100点	200点	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
	上記から2教科2科目を選択。				

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点＋総合段階	200点	200点×2 (400点)
	【地理歴史】	「世界史B」「日本史B」「地理B」	100点	200点	
	【数学】	「数学Ⅰ・数学A」	100点	200点	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
	上記から2教科2科目を選択。				

※ 記述式問題の取扱いについて

〈数学Ⅰ・数学A〉

記述式問題を含めた100点満点の得点を200点満点に換算して「数学」の得点として活用する。ただし、医学検査学科では、「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」を各100点満点とし、合わせて200点満点として「数学」の得点を算出する。

〈国語〉

記述式問題の評価については、大学入試センターが提供する総合段階を点数化して、次のように扱う。

『A→12点、B→9点、C→6点、D→3点、E→0点』

「国語」の得点は、記述式問題の評価に加え、客観式問題の近代以降の文章（配点100点分）を範囲として112点満点とし、これを200点満点に換算して活用する。この際、小数点以下を四捨五入して、整数値で扱う。

大学入学共通テスト利用選抜（後期日程）

〈試験科目に関する注意事項〉

「英語」はリスニングを除く。

「数学Ⅰ・数学Ⅱ」は記述式問題を含む。

「国語（近代以降の文章）」は記述式問題を含まない。

本学入試において「地理歴史」及び「公民」をあわせて1教科とみなす。

医学検査学科

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点	200点	200点×2 (400点)
	【数学】	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」	100点	200点	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
	上記から2教科2科目を選択。				

看護学科

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点	200点	200点×2 (400点)
	【公民】	「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理，政治・経済」	100点	200点	
	【数学】	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」	100点	200点	
	【理科】	「化学基礎・生物基礎」 「化学」「生物」	100点	200点	
	上記から2教科2科目を選択。				

リハビリテーション学科理学療法学専攻

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点	200点	200点×2 (400点)
	【数学】	「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「数学Ⅲ・数学Ⅳ」	100点	200点	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
	上記から2教科2科目を選択。				

リハビリテーション学科生活機能療法学専攻

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点	200点	200点×2 (400点)
	【数学】	「数学Ⅰ・数学A」	100点	200点	
		「数学Ⅱ・数学B」			
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
上記から2教科2科目を選択。					

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻

必須／選択	教科	試験科目	共通テスト配点	換算配点	配点合計
必須	【外国語】	「英語」	200点	190点	200点
		英語外部検定試験	—	CEFRのレベルに応じて点数化	
選択	【国語】	「国語（近代以降の文章）」	100点	200点	200点×2 (400点)
	【地理歴史・公民】	「世界史B」「日本史B」「地理B」	100点	200点	
		「現代社会」「倫理, 政治・経済」			
	【数学】	「数学Ⅰ・数学A」	100点	200点	
	【理科】	「物理基礎・化学基礎」 「化学基礎・生物基礎」 「物理」「化学」「生物」	100点	200点	
上記から2教科2科目を選択。					

※ 記述式問題の取扱いについて

〈数学Ⅰ・数学A〉

記述式問題を含めた100点満点の得点を200点満点に換算して「数学」の得点として活用する。

〈国語〉

客観式問題の近代以降の文章（配点100点分）のみを範囲として、これを200点満点に換算して活用する。なお、記述式問題は評価の対象としない。